

母語による子育てを薦める取り組み

鈴木庸子 (国際基督教大学教育研究所)

西方郁子 (ピナット~外国人支援ともだちネット)

子どもの成長・発達とまわりの環境

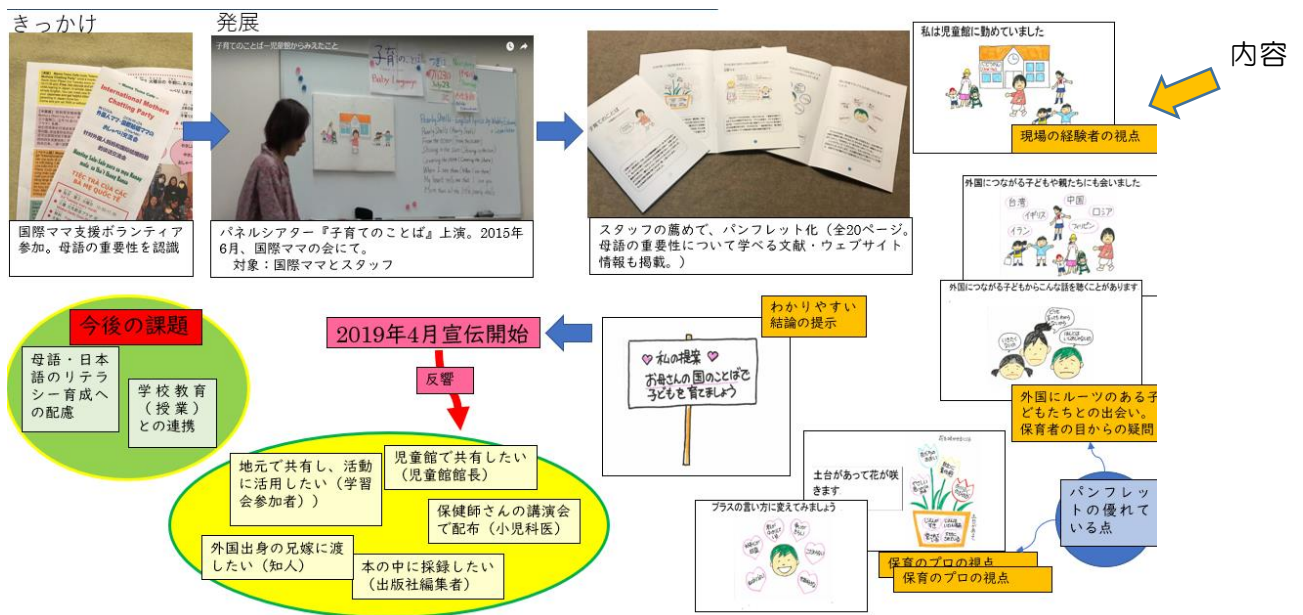
日本国内で日本語教育を必要とする子どもは、必然的に日本語と母語という多言語・多文化の環境で育っている。

0歳 2歳～ 4歳～ 6歳 8・9歳～ 学校終了

家庭母子保健・医療 保育所・幼稚園・子ども園	(B) 母子健康手帳プロジェクト	家庭、学童、塾、 スポーツクラブ	(A) パンフレット「子育てのことは-児童館から見え」
		学校	

*ゆりかご時代 *子ども部屋時代 *遊び友達時代 *学校友達時代前半 *学校友達時代後半
(中島和子 2016『バイリンガル教育の方法』(アルク)を参考に発表者が作成)

(A) パンフレット「子育てのことは-児童館から見たこと」：開発の経緯・内容と成長



(B) 母子健康手帳プロジェクト：乳幼児期の母語の重要性 啓発の概念図



今後の課題 母語・日本語のリテラシー、保健・保育分野と連携 → 母語・日本語の健全な育成

*謝辞：パンフレットの公開にあたり校閲してくださいました中島和子先生、ピナットの皆様、パンフレットに貴重なコメントを寄せてくださった皆様、母子健康手帳プロジェクトチームのメンバーに感謝申し上げます。